

都市山麓への来訪者の森林保全等の意識に関する研究

-六甲山系での「仮設デッキ」空間と「森の音楽祭」の効果事例として-

2010年度日本建築学会大会 9月9日

戸田都生男

(財)啓明社 特別研究員

京都府立大学大学院 生命環境科学研究科博士後期課程

発表内容

- ・背景と目的
 - ・ 既往研究, 場所
 - ・ 目的 (研究, 活動)
 - ・ 仮設デッキ概要
- ・方法
 - ・ 調査A: 記帳用紙 自由記述
 - ・ 調査B: アンケート 選択回答, 自由記述
- ・結果と考察

背景 (既往研究)

自然環境のデザイン

2009 カプランら

自然をデザインする
-環境心理学からの
アプローチ -

自然風景と疲労回復

音や視覚など複合的環境

2002 松原ら

日本建築学会環境工
学委員会
都市・建築空間の科学
環境心理生理からの
アプローチ

人間がどう感じるか

背景 (場所)

自然環境の
デザイン

音や視覚など
複合的環境

六甲山麓
森林環境教育

「木匠塾」

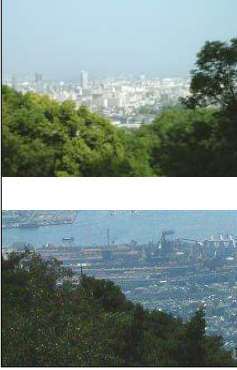
「仮設デッキ」

「森の音楽祭」

使われ方の観察, 来訪者の感想収集

都市山麓: 六甲山系でのグリーンベルト整備事業
森林保全・砂防啓発

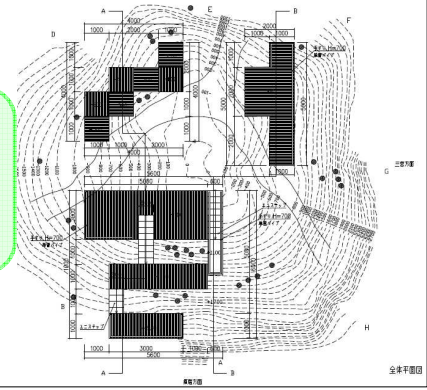
研究の目的



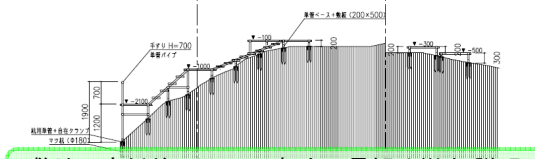
都市山麓の「仮設デッキ」・
「森の音楽祭」来訪者の森林
保全や砂防に関する意識を
調査し、これらの活動が与え
た効果を明らかにすること。

「仮設デッキ」概要

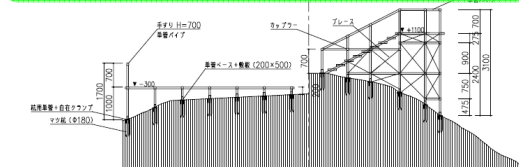
森のなかの
居場所、
観察場所、
ギャラリー
などの機能。



A-A 断面図



敷地の高低差に沿って、都市の景観や樹木、説明パ
ネルを様々なレベルで見ることができる。



竹間伐



竹材仕分け



敷地実測状況



制作メンバー集合



現場U



方法

- 調査A: 「仮設デッキ」内の記帳用紙で感想収集。
- 調査B: 「森の音楽祭」来場者へアンケート調査。

期間: 2009年2月-4月までの3ヶ月間
 場所: 「仮設デッキ」
 六甲山系西部 神戸市長田区高取山
 (竹・単管リユース材・約40名で製作)

調査Aの概要

「仮設デッキ」内の記帳用紙

「仮設デッキ」の記帳内容

調査項目	調査内容 (選択肢等)
属性 (フェイスシート)	氏名、年齢、職業(所属)
来訪の日付	どの時期に多く来訪したか、何回来訪したかなど
一言感想	デッキ、砂防や樹種の説明パネル等の自由記述

調査Aの結果と考察： 年齢別 来訪者数

・ほぼ全ての年代で来訪者があった。「延べ328人」

・当地域では高齢者の多くが毎日山に登る「毎朝登山」という文化、習慣がある。

・中年世代、幼児などの来訪者もあった。

項目別集計	人数
年齢別：	人数
・10歳未満	32
・10歳代	26
・20歳代	9
・30歳代	30
・40歳代	42
・50歳代	48
・60歳代	78
・70歳代	37
・80歳代	5
・90歳以上	1
・無記入	20
計	328

調査Aの結果と考察：一言感想

・記帳用紙の感想の分析。→大半が良好な感想。
凡例：赤字：お礼・賞賛等、前向きな内容
青字：批判的な要望等

№	日付	年齢	所属(職業等)	一言感想(デッキ・展望台・展望等について)
1	2月9日	61	無職	
2	2月9日	31	会社員	枯れた木がなければさらに景観らしがよくなるはず。
3	2月9日	68	主婦	
4	2月9日	70	無職	ここでも弁当を食べたいかも。よく作ったと思う。
5	2月9日	73	無職	砂道敷があるところ道を運るのが山らしくてよい。恒久的にデッキがあればよいと思
6				
7				
8	2月9日	72	無職	もう少し景観らしがよければなおよし。

感想無記入者166人／来訪者328人中

約半数が感想無記入だが、日付・氏名の記入有り。この場に立ち止まっていたことが分かる。

調査Bの概要

「森の音楽祭」のアンケート

森の音楽祭アンケート内容

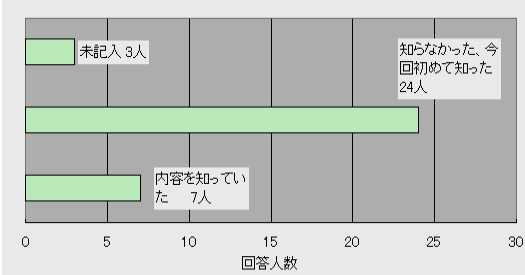
調査項目	調査内容(選択肢等)
属性(フェイスシート)	氏名、性別、年齢、住まいの地区、所属・職業
砂防グリーンベルトの内容について	・知っていた ・知らなかった、今回初めて知った
砂防・森林保全について	・興味、関心がある ・興味、関心はない
一言感想	竹仮設デッキ・演奏者について 自由記述
「森の音楽祭」について	・大変よかった ・よかった ・よくなかった
「森の音楽祭」開催をどのようにして知ったか？	・現地の告知案内 ・山道の告知案内 ・メール、ホームページ等 ・長田区役所 ・その他

調査Bの結果と考察



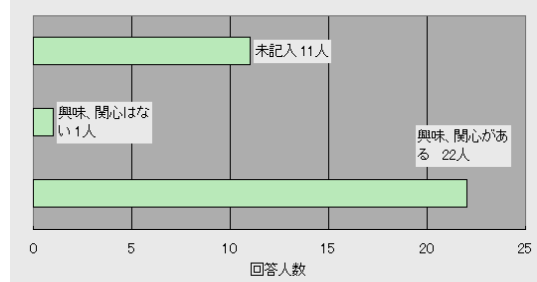
仮設デッキで「森の音楽祭」を開催
(2009年3月20日(金・祝日)10:30-12:00)
草笛, カントリーミュージック演奏など

Q：砂防グリーンベルトについて知っていますか？



・知らなかった、今回初めて知った
約70%、24人／34人中
・回答人数 31人／34人中 回答率約91%

Q：砂防・森林保全について興味や関心がありますか？



・興味、関心がある 約65%、22人／34人中
・回答人数 23人／34人中 回答率約68%

クロス集計表：年代別/砂防グリーンベルトについて

分類項目／集計項目	砂防グリーンベルトについて			総計
	知っていた	知らなかった	未記入	
年齢(代)				
20	2	4	1	7
30		1	1	2
40		1		1
50		9		9
60	5	7	1	13
70		2		2
総計	7	24	3	34

全世代の半数以上が「知らなかった」

クロス集計表：年代別/砂防・森林保全について

分類項目／集計項目	砂防・森林保全について			総計
	興味関心がある	興味関心はない	未記入	
年齢(代)				
20	6		1	7
30	2			2
40			1	1
50	4		5	9
60	9		4	13
70	1	1		2
総計	22	1	11	34

40代を除く、全世代かつ全体の半数以上が興味関心をもっている。

クロス集計表：砂防グリーンベルトについて/
砂防・森林保全についての興味関心度

分類項目/ 集計項目	砂防・森林保全について			
	興味関心がある	興味関心はない	未記入	総計
砂防グリーンベルトについて				
知っていた	5		2	7
知らなかった	14	1	9	24
未記入	3			3
総計	22	1	11	34

グリーンベルトについて知らなかった人のうち、半数以上に興味関心をもたらした。

まとめ

①比較的、砂防グリーンベルトの認識は低い¹が、砂防や森林保全への興味・関心は高い傾向にある。

②仮設や音楽といった間接的な取組みにより、森林保全や砂防に対する興味や関心が向上するなど来訪者の意識の変化がみられた。

ご静聴ありがとうございました。

敷地北側から全体を見た状況



東側（三宮方面）

南側（須磨方面）

西側（高取山山頂方面）

神戸新聞 2009.2.3 朝刊 六甲山本誌動向掲載記事



仮設デッキ設置及びイベント開催の目的

■ 竹の仮設デッキの設置目的

土砂災害の防止をおこなう山麓の砂防グリーンベルトエリアの森林保全と啓発活動の一環として、地元竹材を有効に活用した仮設物を実験的に設置することで都市山の魅力を引き出すこと。

■ イベント「森の音楽祭」の開催目的

森の中で自然の鳥の鳴き声や風の音とともに人工の演奏を介して森林保全と砂防について啓発をし、地元登山会の高齢者たちと若者(大学生)の交流促進を図ること。

木匠塾活動内容の概略



樹木⇒生物

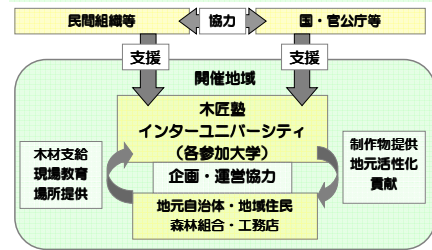


木材⇒技術



建築⇒生活

建築や環境を専攻する学生が、中山間地域の住民と協働し、地域の木材で「ものづくり」をしながら森の暮らしに触れ、木の文化を学ぶ実践を「まちづくり」に生かす活動。1991年から飛騨高山で開催以来18年の時を経て、現在、全国の中山間地域など7ヶ所（総分庁で9ヶ所）で開催されている。全国の木匠塾に参加した経験者は、延べ3000名以上に及ぶ。



森林文化 木匠塾の目指すもの 木造文化

ものづくりの基礎から、知識より体験を通じたまちづくりへ

学年を越えた 学部を越えた 大学を越えた

樹木⇒生物から材料へ 木材⇒技術の継承へ 建築⇒生活環境の改善へ



植樹 樹木の生長 =長い年月をかけた取組み= 木匠塾 活用
生産プロセスが生きる術を生み出す (=生活技術の創出)